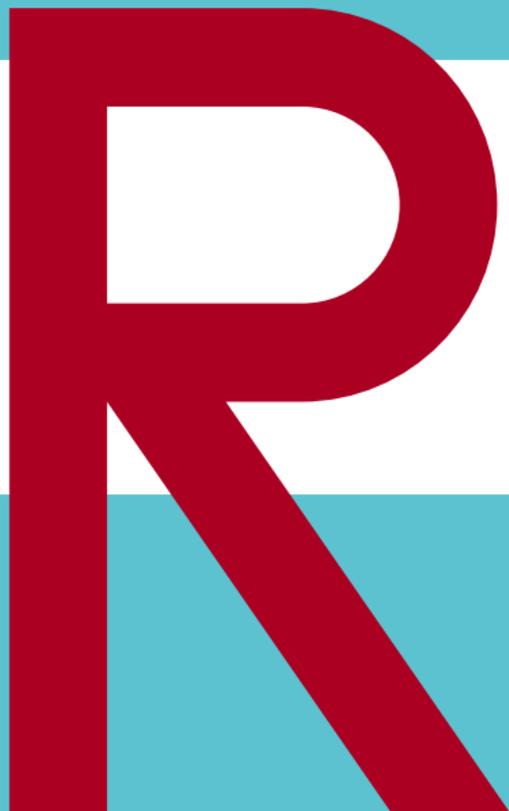




+R 未来を生み出す人になる。

立命館大学



+R REPORT
RITSUMEIKAN UNIVERSITY

2010-2011

発行にあたって

このたびの東日本大震災によって、尊い命を奪われた皆さまのご冥福を心からお祈りするとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

教育・研究に携わるものとして何ができるのか、わが国と人類社会の未来を切り拓く責任を、立命館大学はあらためて見つめなおしていく必要性を強く感じています。

ここに「+RREPORT」として、立命館大学の教育の取り組みや地域・社会で活躍している学生の皆さんの姿、財務状況の概要についてお知らせいたします。

立命館大学は今後も、学生の皆さんが自らの力によって、未来を切り拓き、未来を生み出す人材として成長するサポートを全力で続けてまいります。

contents

- 1 東日本大震災復興支援の取り組み
- 2 立命館大学の取り組み
- 3 学習者中心の教育
- 4 地域・社会をフィールドに学ぶ学生たち
- 5 キャンパス・アメニティの向上
- 6 奨学金制度の充実
- 7 キャリア支援プログラム
- 8 立命館学園2010年度の財務状況

東日本大震災復興支援の取り組み

■「立命館災害復興支援室」の開設

東日本大震災における対外的な支援要請の窓口や、学生・教職員の支援活動をサポートすることを目的とした「立命館災害復興支援室」を設置しました。今後、学内外の情報をとりまとめ、諸機関と連携し総合的な支援を行っていきます。



「東日本大震災 私たちにできること」

URL ▶ <http://www.ritsumei.ac.jp/rs/20110311/>

■「立命館災害復興支援基金」の設立

今回の震災により影響を受けた、立命館で学ぶ学生が、引き続き本学で学ぶことができるよう最大限の支援を行うこと、教育、研究活動を通じて災害に強い社会の構築に寄与すべく、可能な限りの努力を行うという方針に基づいて、「立命館災害復興支援基金」を設立しました。この基金は、被災学生の生活を経済的に支援する「被災学生支援金」と学生ボランティア等の活動を支援することを目的とした「復興活動支援金」で構成されています。

■学生による復興支援の取り組み「311+Rnet」

学生たちによる復興支援活動も積極的に行われています。支援活動を行いたいと考えている学生への情報提供、情報交流のために、「立命館大学震災支援活動情報ネットワーク(311+R net)」を設置しています。



●立命館学園の中期計画未来をつくる「R2020」を策定

2020年における立命館の学園像として「学園ビジョン Creating a Future Beyond Borders 自分を超越る、未来をつくる」を掲げ、今後は教育・研究の質向上の取り組みを一層進めていきます。以下の基本目標（一部抜粋）を掲げ、2020年に向けて達成していきます。

- グローバル化する社会で、他者を理解し、多様な個をまとめ自ら行動して現代社会・国際社会を切りひらく人間を育成する。
- 正課・課外、国内・国外などの枠を超えて学びあう、多様なコミュニティを形成し、学習者中心の教育を実践する。
- 正課、課外の枠を超えた学びを実現するための環境づくり。
- 学生生活・アメニティの改善、学生諸活動の充実、交通アクセス・通学条件の改善につながるものとして、新キャンパスの開設（大阪府茨木市）および既存キャンパスの整備をすすめる。



学園創立110周年記念事業を実施

2010年は、学園創立110周年の年でした。学生・教職員による公募企画の実施や卒業生と在学生が集う「ホームカミングデー」等を実施し、学園構成員全員で110周年を祝いました。



110周年記念企画（抜粋）

- ▶ アジア太平洋・学長平和フォーラム
- ▶ 白川静文庫開設記念展

学生による公募企画（抜粋）

- ▶ 110周年記念CMの作成（映像制作団体GREENS）
- ▶ 学園歌普及委員会
- ▶ 110周年記念オリジナルソングの制作（BKCの学生有志団体）

●学びの実態アンケートの実施

「学びの実態調査」を全学部で実施しています。学生の学びの動態、どんな能力が身についたと考えているのか、まだ十分に身につけていないと思うことは何か等を調査。その結果にもとづき、今後の各学部での学びや、学生サポートのあり方の改善を図っています。



●衣笠図書館に新しい学習空間「びあら」誕生

「仲間（びあ:Peer）とともに学ぶ楽しさ、成長するよろこびを感じる場であること」をコンセプトに、学生の主体的で創造的な学びが促進されるようデザイン。グループ学習等での活用に加え、今後は、学習サポート内容の豊富化を図っていく予定です。



●国際関係学部グローバル・スタディーズ(GS)専攻を開設

英語の授業のみで卒業に必要な単位を習得することができる本専攻。32名の新入生を迎えました。異文化への理解力や適応力、高度な語学力を養い、グローバルに活躍できる人材を育てます。



●特別ニーズ学生支援室開設

発達障害やその疑いがあり支援のニーズを持つ学生のために、正課を中心とした学生生活をサポートするための支援室を設置しました。大学生として成長するために必要なチャレンジができる支援、学生・教職員・周囲の学生が、ともに生活し、学びあう環境づくりを進める支援を開始しました。



●学生の視点から京都市に政策を提言

「大学生が着物を着るきっかけをつくり、学生と地元コミュニティの関わりを促進するプラン」、「地下鉄にパウダールームスペースを設置し、その場から女性の市政参加のきっかけを作るプラン」などを京都市職員の方に提言しました。これらの提言は、産業社会学部の授業「京都市しあわせ（ハビネス）政策論」から生まれました。



●学部での学びを活かして、BKCをエコキャンパスに

理工学部環境システム工学科で学ぶ学生たちが、BKCのゴミの分別状況を調べてデータ化し、分析。イラスト展示を通して、BKCのゴミの実態と課題を学生間で共有する取り組みを、BKCのエコキャンパス化に向けて実施しました。



●草津市の花「青花」を使ったスイーツを開発

BKCのお菓子作りサークル「SWEETBOYS」が、草津市の花である「青花」をPRするために地元企業や行政と協力して「青花スイーツ」の開発に取り組みました。「青花」の苗植えや、「青花」を知るためのレシピコンテスト等を経て「青花スプレース」が完成しました。



●エリアワンセグ放送局を開設

総務省が推進する「ホワイトスペース特区」に立命館大学映像学部が参加する産学公連携プロジェクトが採択されました。衣笠キャンパスにおいて、エリアワンセグ放送局「R-one.TV」を開局し、「京都」の地域性を活かした新しい情報配信モデルを目指します。



●BKCにランチストリートが誕生

テイクアウト専門店からなる「ランチストリート」は、BKC周辺のお店による学生のための特別メニューが豊富。学生の食環境が改善されました。この取り組みは、2009年度キャンパス整備スタッフと学生会による提案・要望によって誕生しました。



●JR南草津駅に新快速が停車

2011年3月より、JR南草津駅に新快速が停車するようになりました。これにより、神戸・大阪方面からのアクセスが向上し、停車本数も増加、通学環境が改善されました。地元の方々と協力して進めてきた新快速停車の請願運動が形になりました。



●2010年度の主な施設・設備の整備

- 新キャンパス用地取得（大阪府茨木市）
- BKC国際教育寮用地取得
- <教室条件改善>
 - 可動机化（諒友館）
- <バリアフリー化等の障害学生対応>
 - 教室の改修（洋洋館、存心館、明学館）
 - 自動ドア化
 - トイレバリアフリー化改修（至徳館、研心館）

<アクセスの向上>

- 衣笠路線バス改善（大学直通化等）
- 清心館南側の駐輪場の拡張
- <その他>
 - 耐震補強工事（清心館・啓明館）
 - 教員研究室扉のスリット窓取り付け

衣笠キャンパスの新体育館、建設工事中!

2012年秋竣工をめざし、老朽化した現在の体育館を統合・再生する新しい体育館の建設が始まりました。省CO₂技術による負荷の最小化、風致景観の保全・地域との共生をコンセプトとする環境配慮型の建物です。



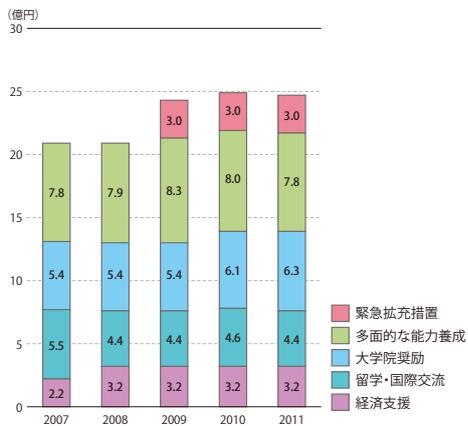
学部学生への奨学金制度

- 1 多面的な能力の育成・奨励
西園寺育英奨学金、
課外自主活動奨励金など
- 2 留学・国際交流支援
DUDP派遣奨学金、
UBC-JP奨学金など
- 3 経済的に修学困難な学生支援
修学奨励奨学金、
緊急入学時給付奨学金など

大学院生への奨学金制度

- 1 大学院特別奨励奨学金、
特別育英奨学金など
- 2 内部進学者への奨学金制度

< 給付型の奨学金予算額の推移 >

● 経済的困難を抱える学生を支援する奨学金の拡充
(2012年度も継続します)

立命館大学では学生の学びと成長を支える奨学金制度を用意しています。その中で経済的困難を抱える学生を支援する奨学金では、昨今の深刻かつ急激な経済環境の悪化を受けて2009年度より奨学金を支給する人数を大幅に拡充しています。

支給人数：通常780名→1,485名(2009年度～)

【在学生】「立命館大学修学奨励奨学金」を約500名分拡充(750名→1,250名)

【新入生】「立命館大学緊急入学時給付奨学金」を約180名分拡充(20名→200名)

「立命館大学学内推薦入学者奨学金」を約25名分拡充(10名→35名)

経済支援制度の拡充

03年度	180名
04年度～	530名
08年度	750名
09年度～	1,485名

(緊急拡充措置含む)
2009年度以降は、3億円の
経済支援奨学金を緊急拡充措置

奨学金についてのお問い合わせ

立命館大学 学生オフィス

衣笠 研心館2階
TEL: 075-465-8168

BKC セントラルアーク1階
TEL: 077-561-2854

※土・日・祝日を除く 10:00～17:00

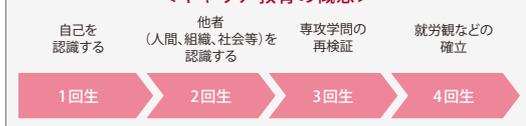
奨学金ホームページ:

http://www.ritsumei.jp/scholarship/index_j.html

● 未来を切り拓くカギは学生生活の充実

希望する進路の実現には、学生生活の充実が何よりも重要です。本学では、「学生一人ひとりの希望する進路・就職の達成」を目指して、学生が将来の目的を持って学生生活を設計できるように、1年生からのキャリア教育を実施しています。

< キャリア教育の概念 >



就職状況の概要(2010年度実績)

就職決定率……91.7% (就職決定者数 / 就職希望者数)

進路就職決定率……82.5% (就職決定者数 + 大学院進学者数 / 卒業整数)

求人総数が大幅に減少し、全国の大学生の内定率が最低水準となるなど、大変厳しい雇用情勢となっています。企業の採用動向としては、採用意欲に回復の兆しが見られるものの、厳しい経済情勢にあつて「量より質」を求める傾向が鮮明になっています。

| スチューデント・ネットワーク

- 卒業生、学生相互による徹底したグループワーク

3年生の各ゼミから選出されるPL(プレジデント・リーダー)、4年生で進路を決定したJA(ジュニア・アドバイザー)、登録者が3,000名を超える若手のOB・OGで学生の就職活動の強力なサポーターとなるCA(キャリア・アドバイザー)、この相互のネットワークが本学の就職支援の最も大きな力です。

<立命館大学独自のネットワークを活かした就職支援>

- PL: 就職準備合宿や勉強会などの自主企画を実施
- JA: 個別相談・面談などの実施
- CA: 懇談会の実施、就職合宿の参加など

| 主な就職支援プログラム

- 窓口相談
- CA懇談会 ～様々な業界・企業のOB・OGと懇談～
- 就活ABC ～就職活動に必要な基本スキルを習得～
自己分析からエントリーシート作成、面接対策まで就職活動に必要なスキルを徹底したグループワークを通して身につけます。
- 文系対象企業セミナー
「しごとと研究セミナー・キャリアフォーラム」
- 理系対象企業研究会「企業の技術ビジョンを知る」

● 女子学生に特化した就職支援

- OGキャリアレポートの発行
- 女子学生のためのキャリアデザインガイダンスなど

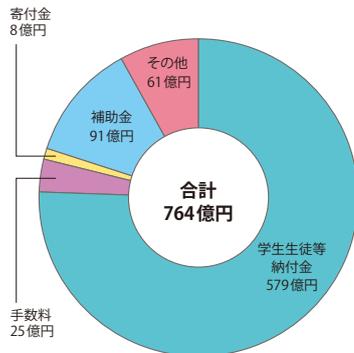
| 実践的な就職支援

- 学内合同企業説明会
- 予約型オンキャンパスリクルーティング
来校社数: 83社・参加学生数525名(2010年度実績)
- Uターン・イターン就職支援
札幌・仙台・東京・静岡・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡の11会場で実施。
参加企業・団体は約490
- 企業の歩き方
5～6月に複数回実施。
エントリーできる企業の探し方をサポート。
- 今日からはじめよう就職活動
6～12月に複数回実施。これからの就職活動を始めるにあつての活動方法などを細やかにサポート
- 模擬面接の実施

| 父母への情報提供

- 「親子で考えるキャリア講座」の発行
- 全国都道府県父母教育懇談会・オープンカレッジ

帰属収入



帰属収入

昨年度に比べ0.7億円
の減収となりました。

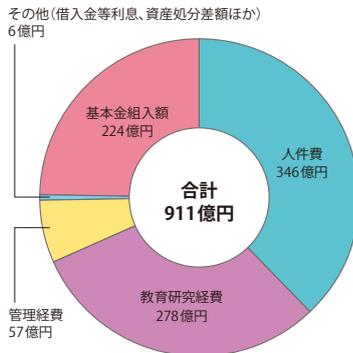
基本金組入額

施設設備や奨学基金
充実により224億円を
組入れました。

消費収入

帰属収入から基本金組
入額を差し引いた消費
収入は540億円です。

消費支出・基本金組入額



人件費

教員人件費は220億円、
職員人件費は113億円
です。

奨学金

教育研究費に含まれる
奨学金(給付型学内制度
による)は46億円です。

消費支出

前年度に比べ23億円
の増加となりました。

▶ 消費収支差額

消費収支計算書は学校法人の経営状態を表します。学園の2010年度決算は148億円の支出超過となりました。これは、学校法人の基本財産となる校地・校舎、図書、奨学基金等増加額を示す基本金組入額が大幅に増加したことによります。

▶ 基本金組入額

2010年度は、大阪府茨木市の新キャンパス整備に向けた用地取得等で前年度から125億円増加し、帰属収入の29.3%となっています。

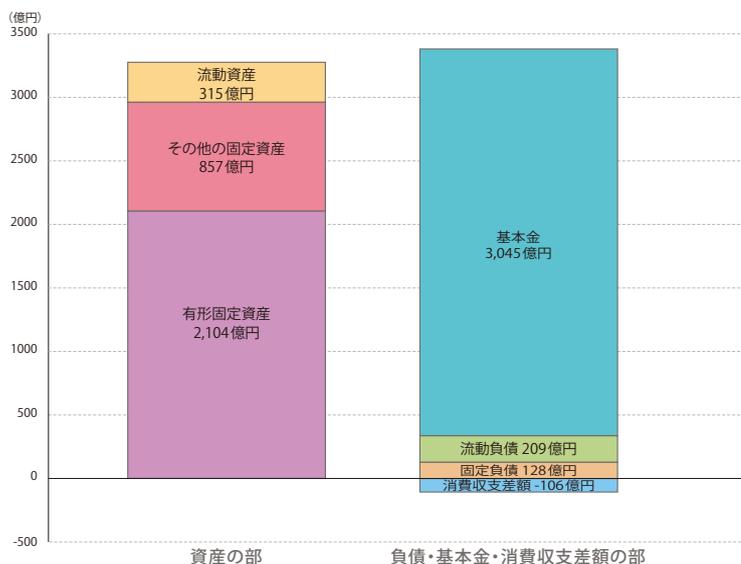
▶ 自己資金

貸借対照表は学校法人の財政状況を表します。2010年度末では、自己資金(基本金+累積消費収支差額)が2830億円、他人資金(負債、借入金や学校債など)が337億円です。総資産に占める自己資金の比率は90%となり、安定した財政状況となっています。

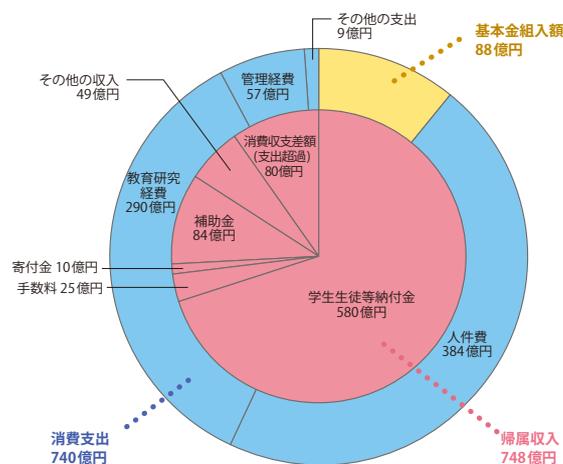
▶ ホームページでの情報公開

学園財政の詳細は、計算書類http://www.ritsumeijp/public-info/public02_j.html、事業報告書http://www.ritsumeijp/profile/a08_j.htmlをご覧ください。

● 2010年度末総資産・総資金に対する構成比



2011年度予算 ※当初予算





〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
<http://www.ritsumei.jp/>

在学生の皆さんのキャンパスライフを応援する情報サイト『RS WEB』<http://www.ritsumei.ac.jp/rs/>